

## <循環器センター内科>

### 一般（教育）目標

循環器疾患を幅広く経験することにより、同領域の疾患および病態を理解する  
虚血性心疾患、うっ血性心不全、弁膜症、不整脈、大動脈疾患および末梢血管病などの疾患のマネジメントを上級医と適宜相談しながら行うことができる

### （具体的）行動目標

- (1) 基本姿勢
  - ・病態の把握ができる病歴聴取を心がける。病態の理解を深める
- (2) 診察法、検査、手技
  - ・循環器疾患の病態を評価するための検査計画をたてることのできる
- (3) 症状、病態への対応
  - ・行った検査の評価ができる。
  - ・狭心症発作・急性心筋梗塞発作・心不全発作・不整脈発作・急性大動脈解離・大動脈破裂の徴候を捉え、上級医の指示のもと、適切な初期治療を行うことができる

### 学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもと入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は10-15人程度とする
- (2) 週5回のCCUカンファレンス、週1回のハートチームカンファレンス、週2回の病棟カンファレンス、回診と週3回のCAGカンファレンスに参加し、症例提示を行う
- (3) 上級医の指導のもと、心エコー検査・CV挿入・動脈ライン確保・スワン-ガンツカテーテル挿入・心肺蘇生措置などを実施する。理解度や手技の習熟度の高い者にはCAGを行わせる事もある

### 学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) CAGを行った症例の提示を行う。病歴、身体所見、検査結果からCAGの適応を明確にした症例提示を行う
- (2) 虚血性心疾患、心不全、不整脈、大動脈疾患などの循環器領域の common disease を対象としたレクチャーに出席する
- (3) 興味深い症例を受け持った場合、木曜カンファレンスをはじめとする各種院外カンファレンス、研究会や日本循環器学会地方会などで、上級医の指導のもと発表を行う（最優秀賞を年に複数受賞している）

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前1	CCU カンファレンス カテーテルカンファレンス	CCU カンファレンス 病棟カンファレンス 回診	CCU カンファレンス カテーテルカンファレンス	CCU カンファレンス 病棟カンファレンス 回診	CCU カンファレンス カテーテルカンファレンス
午前2	アブレーション カテーテル	カテーテル SHD 治療	カテーテル	アブレーション カテーテル 循環器 CT	カテーテル SHD 治療
午後	心エコー	ペースメーカー外来 心エコー 循環器 CT	トレッドミル 心エコー	心エコー 循環器 MRI ペースメーカー外来	

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること